

# しずく

No.  
**123**  
2022.10

●編集●  
広報広聴常任委員会  
●発行●  
岩手県雫石町議会

## 議会だよ

### 特集 令和3年度決算を認定



●今号の主な内容

特集 令和3年度決算を認定…2

9月定例会…6

町政を問う

一般質問 9議員が質問…9

委員会レポート…16

ふるさとへの便り(89)…19

●今号の表紙／なかよしシリーズ⑱

「わたしたち3きょうだい」…20

# 令和3年度決算を認定

令和3年度決算特別委員会（古舘謙護委員長、坂井尚樹副委員長）は、令和4年9月12日から3日間で行われ、一般会計など10会計について活発な議論が交わされました。ここでは、栗石町第三次総合計画に基づく施策大綱ごとに各委員から出された重点事業等への主な質疑を取り上げました。



## 学びを通して 生きがいを感じるまち 《教育》

**教** 【幅委員】子育て子ども食堂開催委託料が令和2年度より減額になっているが、趣旨と現状は。

**答** 【政策推進課長】子どもたちの地域への愛着を深める意味と自らの力で成長できるように応援するために実施。3回実施し、参加者数は合計で106人。

**教** 【大村委員】体育協会事業費補助金について、この補助事業の内容は。  
**答** 【生涯学習スポーツ課長】大きくは4つに分かれていて、ジュニア育成強化、スポーツ少年団の育成、加盟団体の事業費、選手の強



子どもたちと地域をつなぐ子育て子ども食堂

化費として支援をしている。

**教** 【堂前委員】教員住宅利用の現状は。

**答** 【教育次長】令和3年度までは3人の方が居住していたが、令和

4年度においては、誰も居住していない。

**教** 【杉澤委員】アーチアリー体験教室について、栗石高校にも各小学校などに実施している出前教室のような形で取り組むかどうか。

**答** 【生涯学習スポーツ課長】令和4年度からは、アーチアリー体



## いきいきとともにもに幸せを感じるまち 《保健・医療・福祉》

**保** 【大村委員】生涯健康動画制作業務委託料の生涯健康をどのようイメージすればいいのか。

**答** 【政策推進課長】幼少期から老齢に至るまで、さまざま運動機会を設けながら、健康へ向かった取

験教室は小学生以上で、年齢を区切らない形でやっており、高校生の参加も可能な状況になっている。

**教** 【幅委員】子育て寺子屋運営業務委託の実施状況は。

**答** 【教育次長】令和3年度は、栗石地区と御明神地区の2地区で夏休みと冬休みの期間に実施した。令和4年度も、御明神地区と御所地区、西山地区と七ツ森地区で実施している。

り組みを進めていくこととするもの。

**保** 【西田委員】緊急通報装置運用委託料の適用対象範囲、運用件数、緊急通報した件数は。

**答** 【総合福祉課長】適用対象範囲は、65歳以上の一人暮らしの方



8年連続メタボ県内ワースト1 脱却を 今日からトレーニング

【保】で利用者は令和3年度43名。通報した件数は、十数件程度。  
 【岩持委員】 放課後児童クラブ運営事業と児童館管理運営事業の違いは。

【答】 【子ども子育て支援室長】 大きな違いとして放課後児童クラブは町社会福祉協議会に委託しており、児童館はNPO法人に指定管理としている。利用対象者は放課後児童クラブが小学生、児童館は幼児から高校生となっている。

年間利用者数については、放課後児童クラブが延べ1万9000人程度で、児童館は延べ3100人程度となっている。

【保】 【金子委員】 がん検診事業の受診率は、胃がん検診17.5%、子宮頸がん検診14.1%、乳がん検診18.1%と低いが今後の対策は。

【答】 【健康子育て課長】 令和3年度も低い数値で推移しているが、休日に集団検診の機会を設定するなど、がん検診を受けやすい機会の創出に取り組んでいる。

産業を通じて豊かさを実感し  
 笑顔で稼ぐまち 《産業》

【産】 【岡本委員】 飼料等の高騰もあり、アグリリサイクルセンターの堆肥をもっと普及するべきではないか。

【答】 【農林課長】 センターは畜産との連携拠点として重要と捉えている。そのため堆肥の普及にもさらに力を入れていきたい。

【産】 【横手委員】 鳥獣被害対策実施隊研修施設の管理と利用頻度は。

【答】 【農林課長】 町の所有物で、町が管理している。2か月に一回の定例会や各班の研修会等をこれまでに8回利用をしている。

【産】 【堂前委員】 令和3年度予算では、町産材利用促進事業費補助金130万円を計上したが、この事業内容と、執行されなかった理由は。

【答】 【農林課長】 町内産の木を使って、住宅店舗、事務所等を使った場合に、使った体積に応じて助成をする事業。未執行の理由は、申し込みが無かったため。

【産】 【坂下委員】 商工振興費の不用額、多いのはなぜか。

【答】 【観光商工課長】 事業者経営緊急支援事業に対する予算で、残りが繰り越しされている。

【産】 【幅委員】 電気柵の決算額が、昨年から倍以上になっている。具体的な費用対効果のデータはあるか。

【答】 【農林課長】 年々取り組みは増えており、成果は上がっている。被害額は、令和2年度から令和3年度にかけては増加しており、費用対効果は不明である。

【産】 【徳田委員】 鶯宿温泉の空き店舗、空き家対策として解体費の補助を。

【答】 【観光商工課長】 町の大きな課題だと思っている。国の事業等を精査しながら検討していく。

**産** 【岩持委員】国は地方活性化の有効戦略として、2地域居住が提案されている。移住政策に関連して町はどう考えるか。

**答** 【観光商工課長】国として地域活性化や関係人口拡大に資するものとして2地域居住の推進を挙げている。町としては長期滞在型も視野に入れ、アウトドア観光推進研究事業で、滞在の体験を通してそれらの戦略に関係させながら移住・定住を進める。

**産** 【西田委員】鶯宿温泉開発株式会社の運営費補助金の内容は。

**答** 【観光商工課長】鶯宿温泉開発株式会社に対する人件費の補助である。

**産** 【大村委員】観光誘客実践活動の内容は。

**答** 【観光商工課長】町の健全な観光振興を図るため、町内において観光の振興を目的として、観光誘客に関する事業を行う団体に対して



今後、期待が高まるアウトドア施設

交付する事業となっている。

**産** 【岩持委員】マイナンバーカードの交付率は。

**答** 【町民課長】8月21日時点で、5150人。約32%の方が取得されている。4月から7月までの受付

はおよそ332人。

**産** 【杉澤委員】虹の似合うまち暁石町エンジンヨイパスポートのプレミアム付き商品券の町内での利用状況は。

は。

**答** 【観光商工課長】令和3年度、14000部発行しクーポンの清算金額は、6198万7500円。

## 豊かで誇れる自然を守り育て 子どもたちにつないでいくまち《環境》

**環** 【上野委員】コロナ禍での、花のみちづくり活動事業の取り組み状況は。

**答** 【地域整備課長】平成29年度からの取り組みは3団体で、令和3年度は5団体で取り組んでいる。

**環** 【横手委員】令和3年度は、資源物集団回収奨励金が31団体、のべ98回に対して交付された。集団回収の依頼方法は。

**答** 【環境対策室長】各自治会に対して自己収益になるということを周知するために地域づくり推進課が冊子を作っている。



1つひとつの取り組みが地球のために

冊子を配る段階でメリットがあることを一覧にし周知している。

**環** 【西田委員】生ごみ処理機等購入費補助金があるが、生ごみの

処理を堆肥化できないか。

**答** 【環境対策室長】現在、生ごみは焼却処分をしている。堆肥化は、今後検討する。

## みんながつながって安全に住めるまち 《安心安全》

**安** 【徳田委員】町内の管理者不明の橋の把握状況は。

**答** 【地域整備課長】町道に架かっている管理者不明の橋は把握していない。

**安** 【横手委員】公園施設更新工事の内容は。

**答** 【地域整備課長】令和3年度は、世界アルペン記念公園など4カ所の撤去、修繕、更新という3種類の工事を行った。

**安** 【金子委員】道路除排雪業務委託料が令和3年度予算から増額になった理由は。

**答** 【地域整備課長】除雪費は積雪量とともに多くなり、町内で一番除雪費がかかった平成29年度に次ぐ2番目の降雪量となったため。

**安** 【横手委員】消防団員運転免許取得補助金は4人の団員が取得

したが課題は無いか。

**答** 【防災課長】希望者は各分団から報告を受けているが、仕事の都合で取得にいけない状況である。

**安** 【徳田委員】防犯交通安全施設設置工事の中には、防犯カメラの設置工事は含まれているか。

**答** 【防災課長】御明神地区1カ所、栗石地区1カ所に設置した防犯カメラもこの工事の中に含まれる。



安心して利用できるように整備された公園



ポンプ車輛の運転には中型免許が必要

# 令和3年度 一般会計歳入 歳出決算など 10会計を認定

- 昇瀬橋架け替え工事に着手
- 道の駅雫石あねっこの大規模改修工事
- 七ツ森放課後児童クラブ建設工事
- 消防団第5分団第5部屯所建設工事



着々と工事が進む待望の新昇瀬橋

令和4年9月定例会は、9月1日から9月16日までの16日間の会期で行われました。

本定例会では、報告3件、条例の一部改正1件、補正予算5件、認定10件、請願1件、陳情1件、同意1件、議員発議1件、その他2件を審議しました。

決算特別委員会（委員長…古舘謙護、副委員長…坂井尚樹）は、令和3年度一般会計歳入歳出決算など10会計について審査し、すべて認定すべきものと決定いたしました。

一般質問は、9人が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをいただきました。

## 令和4年度補正予算第1号（一般会計及び特別会計）

会計名	補正後予算額（補正予算額）
一般会計（第3号）	107億5,362万4千円 （2億8,360万6千円増）
一般会計（第4号）	107億6,143万1千円 （780万7千円増）
国民健康保険特別会計（第2号）	17億6,097万1千円 （16万5千円増）
介護保険事業勘定特別会計（第1号）	21億338万6千円 （4,416万3千円増）
雫石診療所特別会計（第1号）	3億9,341万4千円 （1,747万7千円増）

### 主な補正予算

○オミクロン株対応ワクチン接種事業 3千276万6千円

オミクロン株対応ワクチン接種を、予防接種法に基づき予防接種に位置づけて実施することになりました。

○冬季誘客イベント開催事業 860万円

これまでの「いわて雪まつり」は終了し、代替の冬季イベントを小岩井農場まきば園で2月4日から12日まで開催し冬季誘客を促進することになりました。

○アウトドア観光基盤整備事業 254万6千円

コロナ禍でのアウトドア観光資源の掘り起こしなど魅力創出を図るため、アウトドア観光企画・提案書作成業務委託、アウトドア観光アドバイザーの依頼等を実施することになりました。

○町内スキー場冬季誘客促進事業 3千203万3千円

コロナ禍でスキー場の利用者が減少している。事業検証によると一定の効果が見られ、事業者から要望があり、リフト券1セット（4千円×5枚綴り）を1万円（2千500セット）で販売、町が1セット当たり1万円支払い、冬季誘客促進を行うことになりました。

## ここが変わる

○職員の子育休等に関する  
条例の一部改正

地方公務員の子育休等に関する法律の一部改正により、働きながら育児等がしやすい環境整備をさらに進めるため子育休等の取得回数の緩和等が行われました。

## 主な質疑

**Q** 【徳田議員】アウトドア観光基盤整備事業に関して、令和3年度の調査結果からアウトドアエリアとしてのブランド化を図るとあるが、どのようなものか。

**A** 【観光商工課長】アウトドア企業との包括連携協定などを行い、自然環境の保全、意識の向上、野外活動を通じて子ども達の生きる力を育むなどアウトドア観光の企画提案をまとめる。

**Q** 【古館議員】鶯宿温泉スポーツエリア推進事業は動画を作成して合宿等の誘致に活用することだが、アーチェリー部のある高校は東北24校、大学は東北13

校と担当課より説明があった。合宿等は東北に限らず、東京方面も誘致の範囲にしているかどうか。

**A** 【生涯学習スポーツ課長】説明は東北地方の

アーチェリー部の設置状況であり、誘致は東北地方に限らず、当然関東、関西も考えている。



アーチェリー屋内射場の整備で合宿誘致が期待される

## 討論要旨

### 反対

【西田征洋議員】

借金の  
積み増しを  
改めて

令和3年度は地方債の年度末残高は前年度より減少しているが、令和4年6月の段階では地方債が積み増しになる計画である。これから数年は年度末残高が減少する財政予測であるが、地方債の決算が予算を1億2千万円上回っている。箱物をつくると経費がついてまわり、後年度負担が増加する。借金の積み増しを改めてほしい。米作農家は、米価の大幅下落、水田活用の直接支払交付金の削減、肥料、飼料等の値上がりなど苦境であり、支援を要望する。また、特別会計の国民健康保険税は負担軽減が叫ばれている中、増税の話が出てきたことは課題である。



### 賛成

【杉澤敏明議員】

昇瀬橋架け  
替え工事に  
着手

令和2年度に引き続き、コロナ禍の影響を受け、歳出決算は前年度に比べ14億3千381万8千円減少している。また、歳入における町債発行額は、6千724万2千円減額の7億6千177万円である。歳入では、町民税、固定資産税、軽自動車税の収納率を上げ、自主財源の確保に努めている。歳出では長年の懸案である昇瀬橋架け替え工事に着手したほか、道の駅栗石あねつこの改修工事、七ツ森放課後児童クラブ建設工事、消防団第5分団第5部屯所建設工事など社会基盤の整備が図られた。厳しい財政状況の中、行政サービスの維持向上を図った内容である。





**同意**

教育委員会委員の任命に  
全会一致で同意

氏名

岩持 斗季子 氏(再任)

行政区

任期

令和8年9月30日

人権擁護委員の推薦に適任であると答申

氏名

高村 正子 氏(再任)

行政区

## 令和4年第5回雫石町議会9月定例会 | 議決結果等一覧

会期：9月1日(木)～9月16日(金)

議案番号	件名	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	坂下栄一	上野三四二	議決結果
議案第2号	令和4年度 雫石町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第3号	令和4年度 雫石町国民健康保険特別会計 補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第4号	令和4年度 雫石町介護保険事業勘定特別会計 補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
追加議案 第7号	令和4年度 雫石町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定 第1号	令和3年度 雫石町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定 第2号	令和3年度 雫石町国民健康保険特別会計 歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定 第3号	令和3年度 雫石町御明神財産区特別会計 歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定 第5号	令和3年度 雫石町介護保険事業勘定特別会計 歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定 第6号	令和3年度 雫石町介護保険介護サービス事業 勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定 第7号	令和3年度 雫石町立雫石診療所特別会計 歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定 第8号	令和3年度 雫石町後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定

○…賛成、●…反対 欠…欠席 -…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。  
★その他の議案、認定、発議については、全議員が賛成しました。



ここが  
聞きたい

# 一般質問

町政を問う

9 議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

10  
ページ

地方創生政策に  
基づく地域づくりは

質問者／おおむらしょうとう  
大村昭東 議員



10  
ページ

町農業経営体をどう支援するか

質問者／うわのみよじ  
上野三四二 議員



10  
ページ

火災予防、住宅防火を  
進める取り組みは

質問者／ふるだてけんご  
古舘謙護 議員



12  
ページ

エアコン購入助成に  
踏み切る考えは

質問者／にしだまさひろ  
西田征洋 議員



12  
ページ

旧上長山小学校の利活用は

質問者／はばひでや  
幅 秀哉 議員



12  
ページ

町の防災、減災対策は

質問者／かねこかずお  
金子一男 議員



14  
ページ

ふるさと納税寄付金の活用は

質問者／どうぜんよしのお  
堂前義信 議員



14  
ページ

米価動向をどう捉えているか

質問者／いわちきよみ  
岩持清美 議員



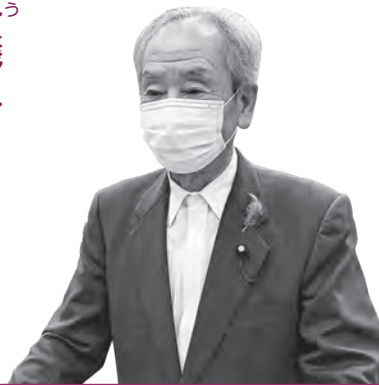
14  
ページ

ごみ資源化の促進は

質問者／すぎさわとしあき  
杉澤敏明 議員



人材育成基本条例制定と、その中に「学ぶ権利」を規定するを望む



質問者 / 大村昭東 議員

### 地方創生政策に基づくと地域づくりは

**町長** 持続可能なまちづくりに取り組む

**Q** 町の主要産業である農業及び観光業等にかかわる、さまざまな主体の自立を図ろうとしているのか。

**A** 総合戦略の基本目標の一つである「いきいきと仕事のできるまちづくり」において、具体的施策を推進するためのアクションプランを進めているが、行政の取り組みだけでなく、さまざまな主体との協働の取り組みが必要と捉えている。

コロナ感染症対策ももちろん重要だが、国の行政に頼らず、独自の政策をやるべきだ



質問者 / 上野三四二 議員

### 町農業経営体はどう支援するか

**町長** あらゆる農業者に対し支援

**Q** 農業法人や大規模・小規模の町農業経営体はどう支援するか。

**A** 規模にかかわらず国、県の補助事業の活用や町の農業応援事業などで、あらゆる農業者に対し支援する。

### オーガニックブレッジへの参入へどう支援するか

**Q** 農林水産省が進めているみどりの食料システム戦略で、オーガニックブレッジ

3年ぶりの雫石よしやれ祭り伝統の継承とにぎわいに関係者に敬意!!



質問者 / 古舘謙護 議員

### 火災予防、住宅防火を進める取り組みは

**町長** 消防防災専門員を本年度より配置

**Q** 火災予防を推進し、住宅防火を進める必要があるが取り組み状況は。

**A** 春秋に消防団による火災予防広報とパトロールを実施。また、雫石分署、消防団、婦人消防協力隊が連携し、住宅用火災警報器のバッテリー及び本体の交換について指導、防火啓発を行っている。加えて本年度より消防防災専門員を配置し地域防災力の向上に取り組んでいる。

### 投票所への移動支援の実績は

**Q** 町観光協会が取り組むDMO実現に万全を期すべきではないか。

**A** 町観光協会の組織や事務局構成の改編・アドバイザーの配置等が検討されている。また、事業計画の進捗よく状況を検証し、町からの補助金等の交付に依存することがないよう自主財源の確保に努め、四半期毎の報告により管理していく。

**Q** 農業指導センターを国、県の協力を得て、協働事業のモデルとして発足してはどうか。

**A** 協働事業として、将来、粟石型農業の方向をどうすべきか方針を定めた上で、6次産業の活性化と農業収入の確保を目指したい。



今こそ、6次産業の活性化を

の参入拡大が進んでいる。どう支援するのか。

**A** オーガニックビレッジに限らず、SDGsやカーボンニュートラル等も視野に入れ取り組み団体の活動を後押し、町内普及を推進していく。

※オーガニックビレッジとは、有機農業の生産から消費まで、生産者だけでなく事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のこと。



今後の発展が期待できるオーガニック野菜

選挙投票所・投票区の見直し後の結果は

**Q** 今年の参議院選挙で投票所・投票区の見直しが実施されたが、結果をどう評価し、投票率減少をどう検証、総括したか。

**A** 町の投票率は53・9%、全国は52・0%、県は55・3%であった。令和元年の前回参議院選挙は69・2%、前々回の平成28年は56・1%である。前回からの減少理由は、町議会議員選挙と同日であり、投票率が高かったと考えている。前々回と比較すると全国、県内の投票率減少と同様の傾向であった。

**Q** 先の参議院議員選挙でのあねっこバスによる投票所への移動支援（チケット1回分）を利用した方は何人か。

**A** 今回の選挙における利用者数は9人だった。この移動支援は今後も実施予定なので、改めて周知を図り支援が必要とする方の利用につながるよう取り組んでいく。

3年ぶりイベント開催

**Q** コロナ禍の中、3年ぶりに第20回南部よしゃれ全国大会、第52回粟石よしゃれ祭りが開催されたが、町長の見解は。

**A** 実行委員会により企画、運営まで行われたが、感染対策を講じた中での開催であった。南部よしゃれ全国大会には約170名の参加者があった。また、粟石よしゃれ祭りでは規模を縮小した中、沿道には多くの観覧者の笑顔が見られた。今後、もこのようないざわいのあるイベントが開催されることを望む。



にぎわい復活、よしゃれ祭り

コロナ感染を止めるには発生源を突き止める徹底した検査こそ！



質問者／西田征洋 議員

エアコン購入助成に踏み切る考えは

町長 高齢者世帯。ニーズの把握に努める

Q 自治体が独自で高齢者世帯へのエアコン購入や設置費用を助成する動きが見られるが町も高齢者世帯へのエアコン購入助成に踏み切る考えは。

A 総合相談窓口やお互いさま情報交換会等を通じて、エアコン購入に関して相談等は受けていない。この状況から、エアコン購入費の助成については現在では実施する考えはないが、高齢者世帯におけるニーズの把握に努める。

長い冬場の活動の場が少ないよー



質問者／幅秀哉 議員

旧上長山小学校の利活用は

町長 貸しオフィスや地産地消レストランとして活用を検討

Q 旧上長山小学校の利活用計画とその進捗状況は。

A 校舎等は、貸しオフィスや地元の食材を活用した地産地消レストラン等としての活用を検討しており、令和5年度の運用開始を想定し、令和3年度に用途変更の手続きを行った。

Q 旧上長山小学校体育館を冬季間球技練習ができるよう整備すべきでは。

A 地域住民の利用に配慮する方針から、既存の施設を維持し、用途を限定せず、

町の防災、減災対策を考え、いつか来るであろう災害に備えよう



質問者／金子一男 議員

町の防災、減災対策は

町長 災害時の体制づくりに取り組む

Q 町民の生命、身体及び財産を守ることが町の基本的責務である。関係機関の協力を得ながら対策に万全を期す必要があると思うがどうか。

A 県や警察、消防、自衛隊等の関係機関と平常時から情報提供、情報共有をしている。また、総合防災訓練等を通じて相互に協力し、防災活動に取り組む。

## 埋設ダイオキシンは

**Q** 町の埋設ダイオキシンに対し、林野庁などに問い合わせや話し合いをしたのか。  
**A** 東北森林管理局に対する今年度の要望活動を実施することから、県の要望に合わせて、町ではこの問題が早急に解決されるよう要望する。

## 物価高騰等に対する農家支援は

**Q** 資材、機材、原材料の上昇分への町の対応はどうか。  
**A** 本定例会にて農業生産資材のうち、肥料及び飼料の価格高騰に係る給付金の

補正予算を計上している。  
地方創生臨時交付金を財源として、農業経営の一助となるよう支援する。



物価高騰への農家支援は急務

幅広く利用できるよう考えている。現時点での改修は難しい。



幅広い利活用が期待される旧上長山小

## 大型水田整備への影響は

**Q** 農業資材や飼料、肥料が値上がりしている中、現在取り組んでいる大型水田整備への影響はないか。

**A** 籾野地区で進められている水田整備事業は、地元推進委員会が中心となり、合意形成から調査計画に向けた話し合いを重ねている。令和4年度は、構想図面の作成や営農ビジョン策定に向けた検討を進める。

**Q** 町民に対して、自らの判断で命を守るための避難行動と早期避難の重要性をどのように周知するか。

**A** 令和3年度に防災に関する情報を記載した「栗石町防災マップ」を各世帯に配布するなど啓発活動を行っている。また、各自主防災会に対する防災講話など季節に応じた防災情報の周知を行っている。

**Q** 災害時に医療機関の水道、電気等のライフラインの機能が停止した場合の対策は。

**A** 災害時における医療機関のライフライン対策は、診療所には非常用発電機が設置されているが設置されていない医療機関もある。災害の長期化が予想される場合もあるため、それらに備えて企業から発電機等のリースなど、災害協定を結び対応する。



熱を帯び、本番のような防災訓練

ふるさと納税、もっと地域活性化や移住定住につながればいいなあ

質問者／堂前義信どうぜんよしのぶ議員



ふるさと納税寄付金の活用は

町長 給食費の助成などに活用している

Q 寄付金の使い道指定の状況とそれに対応した事業実施は。

A 「子ども・子育てに関する事業」については、小中学校の給食費の助成や18歳までの医療費無償化など。「エネルギー・環境保全に関する事業」については、地球温暖化対策事業やごみ減量化・リサイクル推進事業など。「産業振興に関する事業」については、地産地消推進事業や観光交流に関する事業など。「健康・医療に関する事業」については、救急医療等確保事業など4つを指定

肥料、農業資材、飼料等の高騰対策は、国県の責任でやるべきだ

質問者／岩持清美いわたしみよみ議員



米価動向をどう捉えているか

町長 大きな増額には至らないと考える

Q 昨年の米価と比較して、今年度の米価動向をどう捉えているか。

A 本年度の米概算金は全国的な主力品目で60kg当り1500円高と報道された。当地域の具体的数値は生産者団体で決定となるが、米の需要と在庫を考えると、大きな増額には至らないと考える。

Q 農業を取りまく諸課題に町としての対策は。

A 大規模経営体の水田整備事業で水田の大区画化や地下排水溝整備により、作

広域処理に向け、一人ひとりがごみの減量化・資源化に努めましょう

質問者／杉澤敏明すぎさわとしあき議員



ごみ資源化の促進は

町長 資源化率の向上を目指していく

Q ごみ資源化の促進のためには集団資源回収のほか、回収ボックス等を設置するなど、回収体制を強化し回収量を増やすことが必要ではないか。

A 今年4月から開始した小型家電の拠点回収、スーパー等での店頭回収の実施により、ごみ減量化並びに資源化の促進を図っている。町では現在、資源ごみ回収ボックスの設置は検討していないが、他市町村の有効かつ効率的な取り組みについて情報収集に努

しているが、寄付者の希望によっては用途を指定しない寄付も可能となっている。

## Q 寄付金を活用した地域活性化をどう進めていくのか。

**A** ふるさと納税制度を活用することで、町の魅力を全国に向けて発信することができるほか、返礼品として地場産品を提供することにより地域経済の活性化に大きく寄与する。また、寄付金を活用した事業展開が図られることから、町にとって重要な制度と捉えている。今後も、ふるさと納税制度を通じて地域の活性化に取り組んでいく。



多くの地場産返礼品で町の活性化を

業効率や生産性を上げることにより、収益性の向上が期待でき、営農の継続や農地賃貸のバランス改善に結び付ける。家族経営農家の営農継続はスマート農業技術や農産物加工機械等の導入、親元就農者支援を行い、地域農業の維持と持続的農山村社会の構築に結び付ける。

## 管理河川の安全施設全域調査は

**Q** 町、土地改良区等の管理河川の安全施設の町内全域調査をしたことがあるか。また、安全施設の修理、整備計画はあるか。

**A** 町内全域の一斉調査は実施していないが、随時の河川パトロールを行っている。現在、修理工整備計画は策定していない。



人命にかかわる整備が急がれる安全施設

め、資源化率の向上を目指していく。

## Q 事業系ごみの家庭ごみへの混入対策は。

**A** 会社や店舗から排出される事業系ごみは事業者自らが処理する責任がある。このことから事業者に対しごみの適正分別と排出を促す文書を送付するとともに、減量化を進めるよう呼びかけを行っている。

## 公共事業の執行率は

**Q** 令和4年度の町道改良工事費や昇瀬橋架け替え工事費など、公共事業の現時点での執行率はどのようになっているか。

**A** 設計業務及び工事管理業務に係るものとして8月末時点で合計13億5947万円のうち、支出負担済額が10億3916万4千円で執行率が76・4パーセントとなっている。

## 町のごみ処理状況

町環境対策室調べ

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
ごみ総排出量 (t)	6,642.43	6,577.77	6,616.51	6,390.52	6,217.32
資源化量 (t)	992.29	996.81	978.58	947.05	871.58
集団資源回収量 (t)	390.10	380.31	382.11	348.31	333.47
1人1日当たりごみ排出量(g)	1,079	1,086	1,115	1,096	1,085
リサイクル率 (%)	26.6	25.8	26.0	25.0	22.4

## 総務産業常任委員会

[大村昭東委員長]

調査  
1

### 利用しやすい施設目指し 道の駅「雫石あねっこ」 施設改修状況を確認

8月2日、道の駅「雫石あねっこ」施設改修工事の状況を確認しました。支配人より改修工事の内容について説明を受け、脱衣室は内装改修と棚の更新、交流室についてはステージが撤去され、飲食コーナーが増設されていました。また一部フードコーナーについては、令和5年1月頃から改修工事が始まる旨の説明を受けました。

調査  
2

### 9月8日視察 志戸前川地域の安全安心へ

#### 〇直轄地すべり防止事業集水井工事現場視察

この工事は平成31年度から志戸前川地区直轄地すべり防止事業として開始されているものです。流域内に滑動の危険度の高い地すべり地が確認され、今後地震や豪雨により大規模な地すべりが発生する恐れがあると判断されたことから、当該地すべり地に対し対策工を実施し、大規模災害の未然防止を図るものです(事業計画期間は令和10年度まで予定)。進ちょく状況は排水トンネル工・集水井工3基の工

事中であると盛岡森林管理署より説明を受けました。

#### 〇志戸前川地区復旧治山工事(完成済)現場視察

志戸前川本流において県による復旧治山事業が開始されています。危険流木は除去され、既設治山ダムの機能強化として流木補捉工が整備されていました。

他に流木対策として既設治山ダムを改修工事中でした。

調査  
3

### 通行可能は来年から 貝沢野線安全施設 補修工事状況について

農道貝沢野線の擁壁が倒壊したことから補修工事を実施しているもので、現地で農林課長から状況説明を受けました。年内中の完成予定ですが、冬期通行止めを解除する令和5年4月15日からの通行開始を見込むとのことでした。



早期開通が望まれる農道貝沢野線

## 教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査  
1

### 町立雫石診療所 経営改善計画

9月8日、町立雫石診療所より今後の改善計画について説明を受けました。令和3年度に社会福祉士1名を配置し、各医療機関・介護施設等と連携することで病床の回転率を高めているとのことでした。今年度は新たに事務職1名を配置し、会計事務所に資金収支計算書、貸借対照表などの作成を依頼し、経営内容の分析等を行い、今後の改善に取り組んでいくことを確認しました。

調査  
2

### あねっこバス まちなか巡回バス実証運行

9月8日、地域づくり推進課より、あねっこバス運行見直し及びまちなか巡回バス実証運行について説明を受けました。見直しのポイントとして①運行エリアの考え方を整理、②路線を再編し、経路と便数の見直し、③新たに中心市街地を回る路線を設定とし、多様なニーズに対応することや、事業効率の向上、中心市街地の求心力向上につなげていくことを確認しました。

調査  
3

### 交通安全対策補助制度の進ちょく状況 通学路の交通安全確保

9月8日、学校教育課より「通学路の交通安全確保に特化した交通安全対策補助制度」について説明を受けました。国土交通省は令和4年度に通学路緊急対策として同補助制度を創設しており、町では令和3年度に通学路合同点検の結果、現時点ではこの補助申請を利用していないとのことでした。委員からは十分に点検、調査を行い、この補助制度を活用しながら通学路の安全確保に努めてほしいと要望しました。



歩道の無い危険な通学路



## 広報広聴常任委員会

[古館謙護委員長]

### 視察対応 ひじまち 大分県日出町議会 議会報編集特別委員会来町

7月20日、大分県日出町議会議会報編集特別委員会6名、事務局1名が来町し、議会広報「議会だより」作成時における、町民に読んでもらうための工夫点や課題などについて協議し、さまざまな意見交換を行いました。



表紙の紙面づくりについて意見交換

○令和4年7月15日、21日

議会だより122号校正に係る編集会議を開催しました。

○令和4年7月28日

議会だより122号発行。

○令和4年9月1日

議会だより123号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました。

### 先進地視察研修 議会のICT化、 議会広報のさらなる向上

7月27日から29日にかけて北海道石狩市、余市郡仁木町へ先進地視察研修に行ってきました。町議会でも、今年度内にタブレット端末の導入を予定していますが石狩市は、タブレット端末導入によりペーパーレス化と業務効率化が図られ、年間の経費削減が約200万円にも上るという説明を受けました。また、議会報告会の課題などについて協議しました。

仁木町は、町村議会広報全国コンクールで数多く入賞しており、コンクールにかける思い、紙面構成の技術などを学んできました。中学生との意見交換会の場に議会報告会を活用するなど、新しい視点からの取り組みも参考になりました。今回の研修を、紙面づくりに役立てたいと思います。



議会報告会についても意見交換

## 第69回岩手地区議会議員大会

### 道路整備促進など7項目を要望

岩手地区議会議長会（会長：武田茂岩手町議会議長）主催の第69回岩手地区議会議員大会が7月19日、葛巻町で開催されました。この大会は、雫石町、葛巻町、岩手町の議員が、地域課題の早期課題に向けてお互い協力して検討するため開催しています。地区選出県議会議員や県の関係機関に要望の7項目の要約は次のとおりです。



- ① 広域的な観点からの道路整備促進
- ② 地域振興の観点からの道路整備促進
- ③ 県立高等学校の存続と魅力ある学校づくり
- ④ 農業振興対策の推進
- ⑤ 林業振興対策の推進
- ⑥ テレビ共同受信施設の施設改修費に対する財政支援制度の創設
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症対策

### 議会報告会を開催します

議会活動の状況等を町民の皆さまに直接報告するとともに、議会活動への意見や提言をいただくことを目的に「議会報告会」を開催します。

- とき** 11月26日（土）  
13時30分～15時（受付開始13時）
- ところ** 雫石町中央公民館 2階 大会議室
- 対象者** 町民、町内に勤務する人



ふじむら ふみお  
藤村 文雄さん (87歳・七ツ森・丸谷地)

## ちょっと珍しい木造歩道橋

長山街道沿いにある木造歩道橋は、秋田新幹線開業の際、長山街道が除去になり、地域住民の要望で作られました。小岩井農場の重要文化財のサイロをモチーフに作られ、六角形で円筒型イメージが素晴らしく見事です。地域はもとより町の貴重な財産として、後世まで残したい貴重な木造歩道橋です。



こあかざわ ふみお  
小赤澤 文夫さん (69歳・小赤沢)

## 道の駅雫石あねっこ

21年前の平成13年オープン、昨年リニューアルの「道の駅雫石あねっこ」、ご縁で働くことになり、とても大切なものになりました。ここ2年半余りコロナ禍のため、お客様が減少し、とても残念です。お食事、温泉入浴、キャンプ場、ドッグラン、産直等のアウトドア、お買い物にぜひいらしてください。

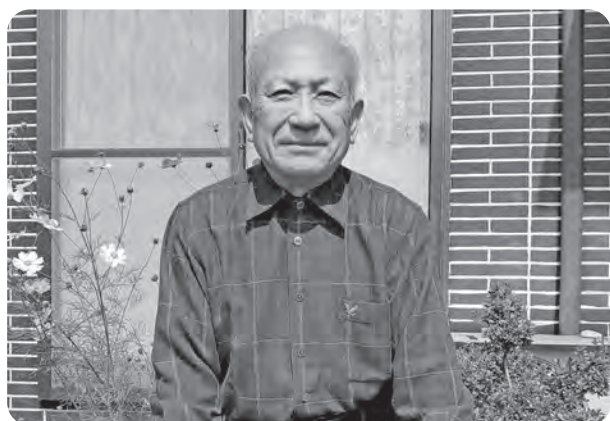
**VOICE**

No.18

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて  
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



こん こうき  
今 孝樹さん (80歳・七ツ森・丸谷地)

## 七ツ森小学校に続くサイロ型のご線橋

小岩井農場には21の国指定の重要文化財がありますが、その中の一号サイロのデザインを取り入れて作られたのが七ツ森のご線橋です。ここからは新幹線こまち、それに岩手山がきれいに見えます。夜は満天の星空、そして静寂。いい所です。冬の除雪は有志で行っています。



いわい のぶこ  
岩井 信子さん (61歳・六区)

## やっぱ おらがまちからの岩手山

雫石の宝と問われ最初に思いついたのが岩手山の景観です。各自お気に入りのスポットがあると思います。自分のふるさとから見る雄大な姿が一番と言われますが、この地がふるさとになって三十数年。さまざまな表情を見せてくれ感謝。自分も小さく自画自賛でもしてこの地でまだまだ眺めていたいと思います。



在京雫石町友会幹事 **いしだ ひさよし**  
**石田 寿美**さん

## 雫石に育てられて貰って良かった

私は「広報しずくいし、しずくいし議会だより」に強い魅力と満足度を感じ、登場する皆様の明るい笑顔が「虹の似合う町」にピッタリだと思います。素晴らしい魅力の雫石に育ててもらい良かったと心から思い、深く感謝しています。

私は、集団就職の時代に出郷、郵便局に18歳で入局、定年退職後も局関連会社に勤務、今年3月、81才で退職するまで63年間勤務できました。体を動かし働くことが大好きな習性は、「雫石」に育てて頂いたおかげだと思います。小、中時代、隣家同士の助け合いの田植えの手伝いや家での雑用係、冬の除雪作業、町の人々の温かい「抱擁力」、いつも働いていることが目に入り「働く」ことは当たり前でした。春夏秋冬、友人や「もろ」と山、川が遊び場で、楽しく「絆」を強める時間でした。思い出に、大寒の雪中行脚をなさる下寺住職さんの「お姿」や「寒中裸参り」で「耐える」ことを学び、小四で、

雫石大火の体験、火の怖さ、「大火事の炎」と戦う消防団の必死の放水、避難田圃で暴れる馬を体を張って制御した若い人の「勇気と行動」、人生に大きな支えとなりました。社会人に必要な事を自然と指導下さった雫石、語源の「点滴穿石」の熟語は大好きです。今はパートでマンションの掃除働き、趣味の剣道、地域活動中です。永遠の望郷「雫石（滴石）」は全ての風土、山河、在郷の方々多くの皆様が私の大きな誇りと支えで、生きがいの「宝」です。



居合道



平成29年3月雫中体育館道場開き(右が筆者)  
日本剣道形演武・打太刀佐々木顧問先生

昭和16年2月生まれ。雫石小学校—雫石中学校—盛岡商業高校—埼玉大学経済短期大学卒—昭和34年浦和郵便局入局、令和4年3月退職、局関連団体を含め勤務63年。趣味剣道教士七段、居合道二段、吟道、書道。



在京雫石町友会会員 **こたなか ひとし**  
**小田中 仁**さん

## 高尾山健康登山2100回満行達成

私は昭和18年2月に小田中家の二男として春木場に誕生しました。次男坊のため高校を卒業したら家を出ることに決めていました。高校時代の思い出はクラブには所属せず6月から10月の日曜日には一人で駒ヶ岳登山をしていました。春木場から橋場まで自転車で行きそこから徒歩で往復したものです。当時は若く体力もあり現在の年齢79才では考えられません。駒ヶ岳は高山植物がとても綺麗で6月頃咲く「駒草」が一番好きでした。

昭和51年10月にイトーヨーカドーの社員食堂に転職し定年まで32年間勤めました。

退職後は高尾健康登山を6年間毎日欠かさず満行の2100回達成することができました。最近はコロナのため毎朝近所を散歩する日々を過ごしています。

高校の同級生と岩手山や八幡平の登山がいい思い出です。

高校を卒業後最初に就職した会社が新宿中村屋でしたが、仕事が合わず1年で退職。昭和37年に再度上京して玉山食堂に就職、その間46年3月に結婚、14年間勤務しました。



高校時代の駒ヶ岳登山 森旅館前で(右が筆者)

昭和18年生まれ。御明神小学校—御明神中学校—盛岡商業高等学校—新宿中村屋—玉山食堂—イトーヨーカドー

# 雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

おだしま しほ  
小田島 史帆さん (26歳) | 駒木野 | ※大槌町出身

Q お二人の馴れ初めは？

A スポーツ雪合戦で知り合いました。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 美味しい食べ物がたくさんあって、自然が豊かで暮らしていて幸せです。

Q 町に望むことは？

A 子どもが遊べる公園を増やしてほしいです。



左：夫 勢耶さん(29歳)  
中央：息子 澄環さん(2歳)

## なかよしシリーズ⑱

今月の  
表紙

写真左から  
長男 喜誉さん (16歳)  
長女 智代さん (15歳)  
次男 喜博さん (12歳)



ほそかわよしてる れいな  
細川喜輝さん、玲菜さん (元御所) のお子さん  
なかよし3きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長男 喜誉さん (16歳) : ゲーム制作者  
長女 智代さん (15歳) : クリエイター  
次男 喜博さん (12歳) : サラリーマン

## 情報公開

### ● 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】 【議長交際費内訳 (7月～9月)】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費		お祝い、会費	
7月	0件	0円	5件	37,948円
8月	0件	0円	4件	74,400円
9月	0件	0円	1件	4,000円
合計	0件	0円	10件	116,348円

※議会の動きはHPに掲載しています。

### ■ 編集デスク

稲刈りも終盤に近づき、美味しい新米の季節になりました。今年はコロナ禍のため、米の消費が落ち込み、米の値段が下がり大変な年でした。今後は円安が進み物価や資材の高騰が懸念されています。

いまだロシアによるウクライナ侵攻の終わりが見えず冬を迎えそうです。一刻も早い停戦と恒久平和をお祈りします。

今回は決算特別委員会を特集しました。皆さんに予算がどのように使われているかをお伝えします。今後とも親しまれる広報紙を目指し頑張っていきます。

(広報広聴常任委員 金子 一男)

発行責任者(議長) / 加藤真純  
編集委員長 / 古舘謙護  
副委員長 / 坂井尚樹

編集委員 / 横手寿明・幅 秀哉  
岡本忠美・徳田幸男  
金子一男